

佐野市国際戦略(案)

～「“佐野に来てよかった”と実感できる 世界とつながるまち」を目指して～

概要版

令和8(2026)年 月

栃木県佐野市

1 趣旨

近年、国境を越えた人やモノ、資本、情報等の移動が活発化しています。

本市においても、海上コンテナ輸送の効率化を目指すインランドポートの設置や、英連邦諸国を中心に国際的なスポーツであるクリケットの国際大会が開催できる「佐野市国際クリケット場」の整備、ムスリムインバウンドの取組などを経て、都市としての魅力や存在感が高まり、本市在住の外国人や海外からの来訪者増加などに見られるように、都市の国際化が進んでいます。

本市はこれまで「第2次佐野市総合計画中期基本計画」において、本市の魅力を海外に発信するとともに、クリケットをキーとして経済交流、産業振興、教育・国際交流等へつなげることで地域の活性化を図り、アジアを中心とした誘客や経済交流等に取り組んできました。

令和7(2025)年4月1日現在、本市に住民登録のある外国人は3,692人で、市の総人口に対する割合は3.28%となり、年々増加する傾向にあります。

このような背景を踏まえ、本市における国際化施策の戦略的な政策展開を図るため、その基本指針となる「佐野市国際戦略」(以下、「本戦略」という。)を策定しました。

2 戦略の計画期間

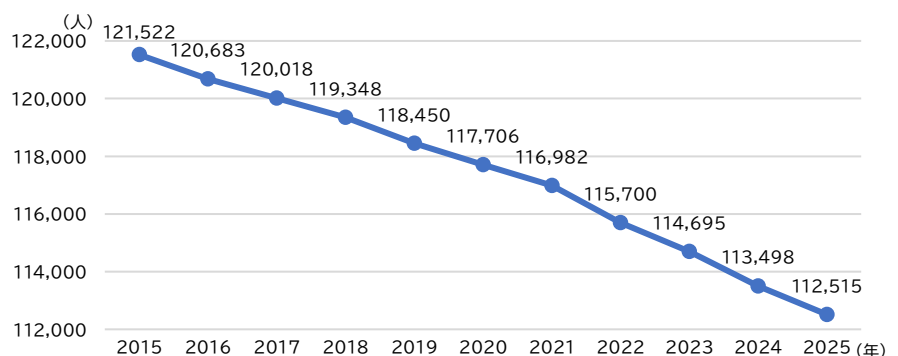
本戦略の計画期間は、第2次佐野市総合計画と整合を図り、令和8(2026)年度から令和11(2029)年度までの4年間とします。ただし、計画期間内においても、本戦略の進捗状況、社会情勢の変化等に応じて必要な見直しを行います。

3 本市の人口に関する統計

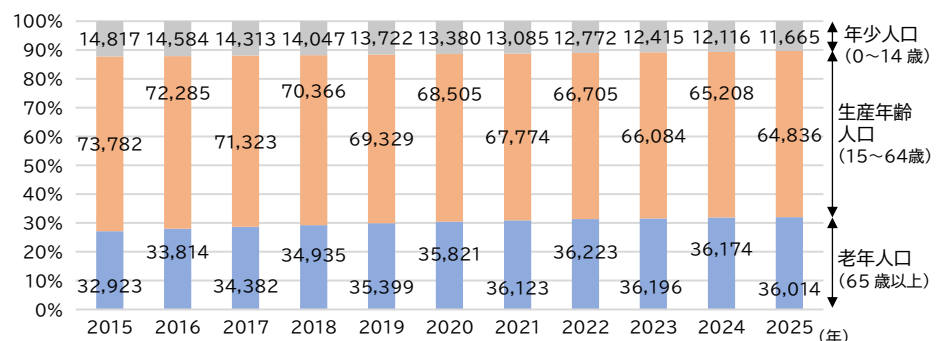
●人口の状況

本市の人口は、令和7(2025)年4月1日現在において、112,515人で、10年前の平成27(2015)年の121,522人と比べて9,007人(7.4%)減少しています。年齢区分別の人口推移をみると、年少人口(0～14歳)や生産年齢人口(15～64歳)が減少する一方で、老年人口(65歳以上)が増加し、少子高齢化が進んでいます。

▶ 本市の人口



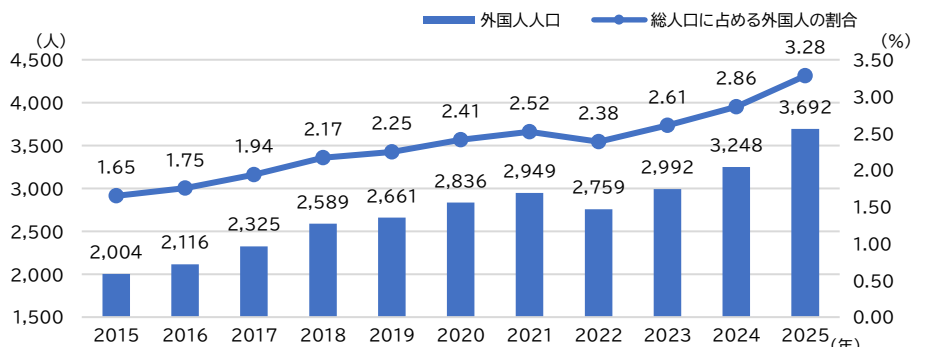
▶ 年齢区分の人口の割合



●外国人の状況

本市に住民登録のある外国人は、令和7(2025)年4月1日現在において、3,692人で、10年前の平成27(2015)年の2,004人と比べて1,688人(84.2%)増加し、過去最高となっています。また、本市の総人口112,515人に占める割合は、10年前と比べて1.63ポイント増加し、3.28%となり、過去最高となっています。

▶ 外国人の推移

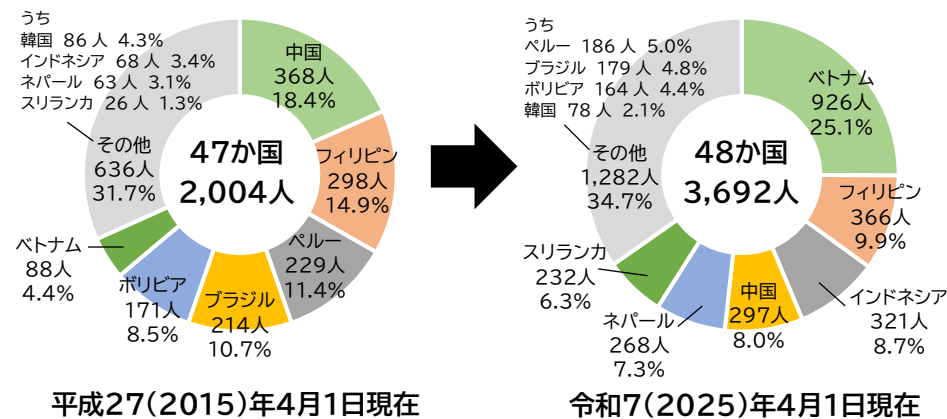


外国人の国籍別人数は、令和7(2025)年4月1日現在においてベトナム(926人、構成比25.1%)が最も多く、次いでフィリピン(366人、構成比9.9%)、インドネシア(321人、構成比8.7%)、中国(297人、構成比8.0%)、ネパール(268人、構成比7.3%)、スリランカ(232人、構成比6.3%)の順となり、全ての国籍数は48か国となっています。

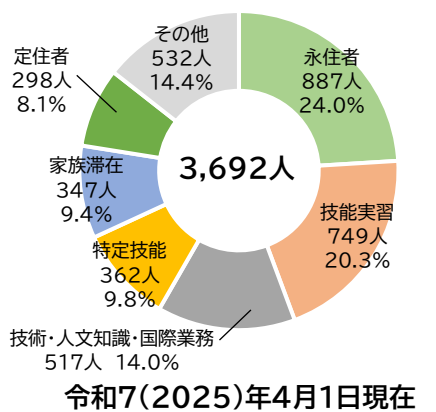
また、10年前の平成27(2015)年4月1日と比べ、ベトナムは838人、インドネシアは253人、ネパールは205人、スリランカは206人と大幅に増加しています。

外国人の在留資格別人数を比率で見ると、「永住者」が24.0%で最も多く、次いで「技能実習」が20.3%、「技術・人文知識・国際業務」が14.0%の順となっています。

▶ 外国人の国籍別人数



▶ 外国人の在留資格別人数



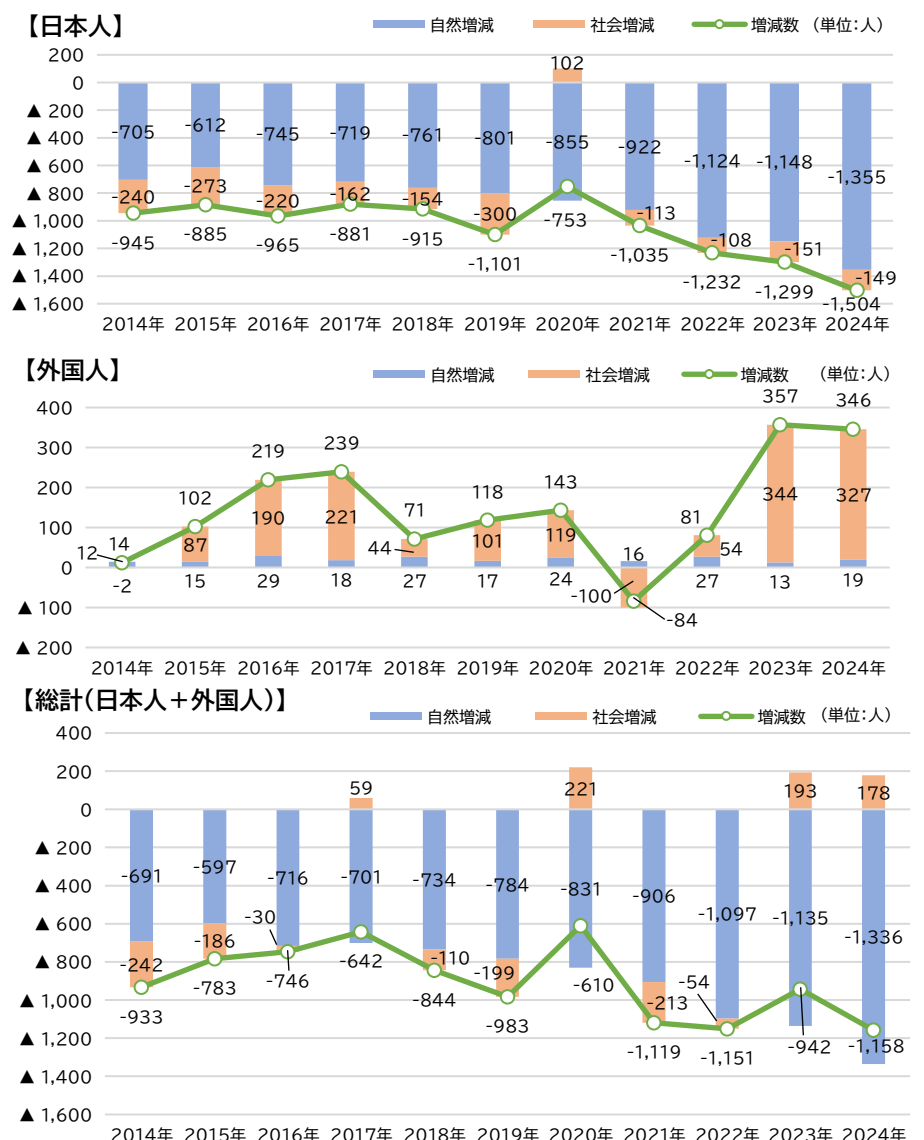
● 社会増減数、自然増減数の推移

本市における日本人は、平成26(2014)年以降、社会増減と自然増減を併せた増減数はマイナスで推移しており、特に自然減の値が徐々に大きくなり、全体のマイナスの幅を押し下げています。

外国人は、近年、社会増の傾向が強くなり、自然増減も考慮した増減数は概ねプラスで推移しています。

日本人と外国人の総計では、社会増減と自然増減を併せた増減数は概ねマイナスで推移しており、特に自然減のマイナスの幅が徐々に大きくなっています。

▶ 図表 社会増減数、自然増減数の推移



4 戦略の基本的な考え方

本頁以降における「外国人」の表記について

様々な外国人の方に地域の担い手になっていただいております。重要な役割を果たしていることから、本市にお住まいの方及び通勤や通学等により日常的に本市に関わりを持たれている方を含め「外国人市民」とします。また、「外国人市民」に加え、観光等で一時的に本市を訪れる方を総称して「外国人」とします。

基本理念 “佐野に来てよかった”と実感できる 世界とつながるまち

本市はこれまで「第2次佐野市総合計画中期基本計画」において、本市の魅力を海外に発信するとともに、アジアを中心とした誘客や経済交流等に取り組んできました。

これからは、本戦略において、「佐野に来てよかった”と実感できる 世界とつながるまち」を基本理念に掲げ、日本人市民にとっても外国人にとっても相互に心地よい多文化共生の環境づくりを進めるとともに、経済活動にも生かしていけるまちを目指していきます。

基本姿勢 多文化共生のまちづくり

基本理念を実現するため、「多文化共生のまちづくり」をベースとして戦略を展開します。

多文化共生を進めるにあたっては、デジタル技術を活用した多言語への対応を図るとともに、意思疎通を深めるための有用なツールを活用し、互いに安心してコミュニケーションが取れる環境づくりに努めます。

また、地域における多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義されています。「互いの文化的ちがいを認め合う」中でも、本市では日本人市民が佐野の文化に誇りを持ち、佐野らしさを生かした中で、外国人市民に佐野の文化や風土を理解していただけるような多文化共生の環境・仕組みづくりを目指していきます。

基本目標1 地域国際化の推進

佐野らしさを生かした、日本人市民にとっても外国人市民にとっても魅力的な共生がとれた地域づくりを推進するとともに、その土台となる多様性や創造性を各ライフステージにおいて育む「地域国際化の推進」を図ります。

基本目標2 戦略的な海外展開の推進

本市は、高速交通網の要衝であること等を背景に、多種多様な企業が立地しています。また、文化・スポーツ、自然、食などの様々な魅力や資源があり、大きな可能性を秘めています。それらを十分に活用し、交流が活発となるよう、「戦略的な海外展開の推進」を図ります。

施策体系

基本理念 “佐野に来てよかった”と実感できる 世界とつながるまち

基本目標1 地域国際化の推進

施策の方向性1 多文化共生社会の推進

- ①多様性から新たな価値や文化が生まれるまちの創出
- ②誰もが安心して快適に暮らせるための生活の支援
- ③誰もが活躍できるコミュニケーション支援や社会参画の推進
- ④多文化共生を支援する基盤の整備

施策の方向性3 文化・スポーツを通じた国際交流の推進

- ①国籍や文化などの異なる人々をつなぐ、文化・スポーツを活用した交流の促進

基本目標2 戦略的な海外展開の推進

施策の方向性2 国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成

- ①学びの場における国際交流の促進
- ②多様性を尊重し人材を育む社会教育の推進
- ③国際理解教育・国際交流活動のアドバイス・コーディネート体制の構築

施策の方向性4 地域経済の活力の向上

- ①海外の成長市場へ展開する環境づくりによるアウトバウンドの拡大
- ②本市の強みを生かしたインバウンド誘客の強化
- ③外国人労働者の適切な受入の推進

相互作用

基本姿勢

多文化共生のまちづくり

5 具体的な施策の主な取組

施策	施策の基本方針
施策の方向性1 多文化共生社会の推進	
1-1 多様性から新たな価値や文化が生まれるまちの創出	①多文化共生に関する社会的理解の促進
	②外国とのつながりによる新たな価値やイノベーションの創出
1-2 誰もが安心して快適に暮らせるための生活の支援	①外国人市民との相互理解と個々のニーズへの対応
	②多言語化や文化の多様化への対応
	③ライフステージに応じた支援や災害時への対応
1-3 誰もが活躍できるためのコミュニケーション支援や社会参画の推進	①コミュニケーションの推進
	②外国人市民の地域への参画や活躍の推進
1-4 多文化共生を支援する基盤の整備	①多文化共生を推進するための庁内推進体制の強化
	②多文化共生関連団体の官民連携の促進
施策の方向性2 国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成	
2-1 学びの場における国際交流の促進	①教育の場における国際理解教育や国際交流機会の創出
	②多様なルーツの子どもや保護者が交流する学校づくり
	③英語教育等によるコミュニケーション能力の向上
2-2 多様性を尊重し人材を育む社会教育の推進	①地域における国際理解教育や国際交流機会の創出
	②国際人材を育むまちづくり
2-3 国際理解教育・国際交流活動のアドバイス・コーディネート体制の構築	①国際理解教育・国際交流活動のアドバイス・コーディネート人材の活用
	②国際交流・情報交換の場の整備
施策の方向性3 文化・スポーツを通じた国際交流の推進	
3-1 国籍や文化などの異なる人々をつなぐ、文化・スポーツを活用した交流の促進	①国籍や文化などの異なる人々をつなぐ機会や場の提供
	②文化・スポーツの活用による国籍や文化などの異なる人々との交流促進
施策の方向性4 地域経済の活力の向上	
4-1 海外の成長市場へ展開する環境づくりによるアウトバウンドの拡大	①情報収集と企業の情報発信
	②海外展開への支援
	③企業の海外展開する意識の醸成
4-2 本市の強みを生かしたインバウンド誘客の強化	①インバウンドの受入体制の整備
	②行政と市内企業との連携強化
	③本市の特徴を生かしたインバウンドの推進
4-3 外国人労働者の適切な受入の推進	①外国人材の受入体制の整備
	②外国人労働者から選ばれるような共生できる環境づくり

6 戦略の推進に向けて

●各主体との連携・協働・共創

本戦略の着実な推進を図るため、市民のニーズを把握し、施策の実施にあたっては、市民、事業所、教育機関、その他関係団体など、地域社会や経済を構成する全ての人々と連携・協働・共創し、一体となって推進していきます。

●市の推進体制

地域の国際化にあたっては、計画的かつ総合的に推進する必要があることから、国際化推進担当部署の設置を検討し、関係部署等と横断的に連絡調整を行い、連携を図る組織体制の整備に努めます。

●戦略の進行管理

本戦略の進行管理は、市民生活や経済等幅広い分野に関わることから、庁内関係部署で組織する「佐野市国際化庁内推進本部」において、計画の進捗管理や課題の整理、対応の検討を行います。

佐野市国際戦略(案)【概要版】

令和8(2026)年 月

発行 佐野市

編集 佐野市総合政策部政策調整課

〒327-8501 栃木県佐野市高砂町1番地

TEL 0283-20-3000

FAX 0283-21-5120

E-mail seisaku@city.sano.lg.jp

URL <https://www.city.sano.lg.jp/>